

2022年度後期（第12回）12月実施 キャリアコンサルティング技能検定

1級 実技（論述）試験

実施日 ◆ 2022年12月11日（日）

試験時間 ◆ 14:30～16:30（120分）

★注意事項★

1. 本試験の出題は、必須問題（全員解答）と選択問題（分野別事例から一つ選択）です。事例を読み、必須・選択問題のそれぞれ指定された解答用紙の設問ごとに記述してください。選択問題は、解答用紙の「選択する分野」の○欄を塗りつぶしてください。記入漏れがあった場合は採点されません。
2. 解答用紙の受検番号・氏名に誤りがないか、確認してください。
3. 試験中は、受検票、腕時計（腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの）、筆記具（黒の鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机の上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受検票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験室内では、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器および電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切り、カバンの中などにしまってください。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、試験監督者の指示に従ってください。
9. その他、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は、失格となります。

【退出時の注意事項】

1. 試験開始後 30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、試験監督者の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻 5分前からは退出できません。試験終了後、試験監督者が解答用紙を回収しますので、着席したまま静粛にお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 2023年3月22日（予定）に、受検者全員に合否通知書を送付いたします。合格者は当協議会のウェブサイト(<https://www.career-kentei.org/result/>)に掲載してお知らせします。

厚生労働大臣指定試験機関

特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会

〒105-0021 東京都港区東新橋2丁目11番7号 住友東新橋ビル5号館9階 TEL03-5402-4688

☆☆ 解答に際しての注意事項 ☆☆

1級実技(論述)試験の問題は、**必須問題**と**選択問題**です。

選択問題は、**企業分野**、**需給調整機関分野**、**教育機関分野**の3分野の事例から1つ選び、解答用紙の「**選択する分野**」の○欄を塗りつぶしてください(記入漏れがあった場合は採点されません)。

必須問題、選択問題のそれぞれ指定された解答用紙の設問ごとに解答を記述してください。なお、事例は、事例相談者(キャリアコンサルタント)が相談者に対してキャリアコンサルティングを行った結果をもとに、事例相談者が事例指導を受けるためにまとめたものです。

事例1【必須問題】

事例相談者：女性(48歳)

相談者：A(男性：44歳)

事例2【選択問題：企業分野】

事例相談者：女性(40歳)

相談者：B(男性：53歳)

事例3【選択問題：需給調整機関分野】

事例相談者：女性(51歳)

相談者：C(23歳)

事例4【選択問題：教育機関分野】

事例相談者：男性(40歳)

相談者：D(女性：23歳)

この事例に登場する人物、団体は、本技能検定用に作成したもので、実在のものとは何ら関係ありません。

解答に際して、裏面および枠外に記述されたものは採点されません。なお解答用紙の裏面をメモ書き用として使用することは可能です。

◇試験問題で使用される用語について

事例相談者とは、キャリアコンサルタントのことを指し、自分が実施したキャリアコンサルティング(事例)に関して、面談過程、事例の見立てや対応方針、環境への働きかけ等について相談をする人のことです。

相談者とは、自らの進路相談、職業相談、人事労務に関する相談など、キャリアに関する相談に来た人のことで、事例に登場する人を指します。クライアント、クライアントと同意語として使用しています。

事例 1：【必須問題（全員解答）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：女性 48 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「必須問題（全員解答）」に記述すること。

相談者：A（男性：44 歳）、中堅の広告代理店勤務。現在は営業部で部長職。

家族：妻 40 歳、長男 11 歳、次男 8 歳、長女 5 歳

【来談経緯】

A さんは、中堅の広告代理店に入社して 22 年になる。営業部は顧客の業界別に分かれており、現在は衣料・繊維関係の部門において部下 10 名をもつ部長である。コロナ禍でテレワークが主流となり、また最近フレックスタイム制が導入され勤務形態も変わったことから、これからは家族との時間も大切にしたいと思っている。部長としての責任はあるが、今後どのような働き方をしたらよいか迷っており、相談に来た。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

会社はテレワークが中心になり、初めは慣れなくて大変だったが、現在は順調に業務を進めることができるようになってきた。一方で働き方も変化したことで、家族との時間を大切にしたいという思いが強くなっている。部長職としての責務を果たすことはきちんとやりつつ、自分の家族との時間をどのように確保できるかについて悩んでいるということだった。

「営業なので、企画の検討やその提案資料の作成に追われていますし、顧客や部下との会議も多い状態です。テレワークが主流になるまでは仕事中心の生活で、連日、残業していましたし、営業部はそれが当たり前でしたが、今は家族との過ごし方にも変化が出てきました。うちの会社はコアタイムがないので、休憩の時間や途中退席も自由にできます。なので、末っ子の送り迎えなどができるようになったし、夕食も家族と一緒に過ごせるようになりました。他の人からみると普通の生活って思えるかもしれませんが、今まで育児は妻に任せっきりでしたので、これからは家族との時間を大切にしたいと思っています。」

（テレワークになって過ごし方にも変化があったことで、ご家族との時間を大切にしたいという思いが強くなってきたんですね。）

「ええ、そうなんです。管理職になるまでは仕事中心で、『出世のために頑張る』なんて思っていました。しかし、部長になった年に第 3 子も生まれて、育児にも関わりたいのにできない、仕事は忙しいし責任もあるしで、ジレンマでした。こんな生活をずっと続けていくのは大変かも、という思いはその頃からありました。コロナ禍で一斉にテレワークになってからは、最初は戸惑いもありましたが、家族と向きあう時間も増えてよかったですと思っています。しかし業務は相変わらず多忙で、朝食前に仕事をしあと娘を幼稚園に送って、夕食後は子どもの宿題を見たりして、その後 22 時ぐらいまで、また仕事をするという生活です。勤務時間は融通が利くようになりましたが、それはそれで大変です。休日に仕事をするときも結構あります。」

（休日もお仕事をやらなくてはならないほど、お忙しいんですね。）

「ええ、しかも会社は働き方改革の推進をしているので、部下の残業時間管理も強く言われて

います。部下も多忙なので、頼んでいる業務がオーバーフローすれば、最後は私の責任になるので、結局自分がやっています。」

(部下のオーバーフロー分の業務は引き取らなくてはならない状況なのですね。Aさんご自身の残業時間は大丈夫ですか。)

「ええ、トータルの残業時間は以前とそこまで変わっていませんが、在宅で朝晩も仕事ができるようになり、常に仕事をしている感じなんです。家族と過ごす時間が増えたのはいいことだけど、このペースが続くのはしんどいと思っています。」

(例えばご自身の作業時間を削減することができる部分など考えたことはありますか。)

「そうですね。人を増やすという方法もあると思って…。自分もそうですが、部下の残業時間も気になりますし、事業部長に相談しましたが直ぐに増員はできないと言われていました。むしろ上層部は、現在の顧客の利益率が低いので、人員削減を検討した方がよいという考えのようだし、安易に増員はできないです。」

(それはお辛いですね。)

「はい…。3人の子どものいるし、妻は専業主婦なので家族を養う必要もあります。現在の給与は割とよい方だと思いますが、教育費などを考えると先の不安もあります。いずれは、自分で独立してやっという考えもなくはないですが、現在の給与水準を維持し家族を養うためにも、直ぐに会社を辞めるという気持ちはありません。八方塞がりになっています。」

(なるほど、現状の中でご家族との時間を確保しつつ、今の会社は辞めずに続けていきたいと思っているのですね。でも独立された方が時間は有効に使えるし、一人で仕事ができる方が自由ですよ。)

「ええ、そうですね。今は以前のように昇格することに魅力を感じていませんが、しかし辞めるとなるととても迷います。なにか突破口がないかと思うのですが…。」

【所感】

Aさんは責任感がとても強いと感じた。働き方改革の影響で部下の残業時間の管理が強化されているため、作業が終わらないものはAさんが対応しており、シワ寄せが管理職にきている実態も把握できた。テレワークを活用し家族との時間も大切にしたいという思いは聞けたと思っている。八方塞がりだという今の状況を打開するためにAさん自身ができることはない、ということであれば独立した方がいいとも思うが、このあとの支援をどのように進めればいいのかわからないので、指導を受けたい。

問1 この相談者Aについて、どのような問題があるか、あなたの考えをその根拠を含めて記述せよ。(15点)

問2 この事例相談者の相談者Aへの対応について、どのような問題があるか、あなたの考えを記述せよ。(15点)

問3 あなたが、この事例相談者の立場なら相談者Aに対してどのように対応するか、あなたの考えを記述せよ。(20点)

事例 2：【選択問題（企業分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：女性 40 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「企業分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：B（男性：53 歳）、旅行専門学校を卒業後、現在勤務する旅行会社に入社し、33 年目。業務課長として郊外の営業所に勤務。

家族：妻（50 歳）、長女（27 歳）と次女（25 歳）は既に結婚して別居。

【来談経緯】

B さんが勤務する旅行会社は、コロナ禍で旅行の需要が激減したことで、別事業での売上げを確保すべく一昨年に自治体のワクチン接種会場の運営を受託した。B さんも昨年の 3 月まではその受託業務を担当させられた。今は少しずつ旅行の需要も増えたことから、本来の仕事に戻っている。今秋は「全国旅行支援」の対応で追われる日が続き大変だったが何とか乗り切ったし、需要も回復してよかったと思う半面、ここ数年様々な事態が起こったことで、モチベーションが下がってきたと感じている。これから先どうしたらよいのか悩んでおり、相談にきた。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

（新型コロナウイルスの影響で旅行業界は大変でしたね。）

「はい、でも幸いうちの会社はイベント主催の経験も豊富だったので、複数の自治体から、ワクチン接種の受付から当日会場の運営までを一括して受注することができました。おかげで業績もそこまで落ち込んではいません。」

（そうですね、この環境下でも安定して働くことができているのですね。）

「はい、それに契約している宿泊施設を感染者の療養ホテルとして提供する事業も受注していましたし…。そこそこ忙しかったですね。」

（具体的に B さんは毎日どのようなお仕事をされていたのですか。）

「宿泊療養施設であるホテルでの事務補助など諸々の作業をしていました。夜勤を担当させられることもありましたが、さすがに夜勤は体力的にもしんどかったですね。」

（今まで経験したことのない夜勤のお仕事も担当させられて、さぞかし大変だったでしょう。）

「ええ、もともと旅行が好きでこの業界に入ったはずなのに、全く旅行と関係のない仕事ばかりさせられていたので…。」

（今もまだ療養施設での業務ですか。）

「いえ、以前に比べて旅行業界も需要が増えてきましたので、今は通常業務に戻っています。この 10 月に全国旅行支援もあったので、その準備もさることながら問い合わせ対応などもかなり大変でした。（少し沈黙）この業界は景気に左右されますし感染も完全に収束したわけではないので、これからもこうやって振り回されるかもしれないと思うと、何だか疲れてきまして…。」

（振り回された感じがして疲れてしまったのですね。）

「はい、なので転職も考えてみたのですが、私は旅行業ひと筋でやってきたし、他の業界で使えるようなノウハウや知識は持ち合わせていないなあと思うと、どうしたものかと…。」

(ご自身では他の業界で発揮できるような、知識やスキルをお持ちでないと考えておられるのですね。)

「はい。それに、私は課長ですが部下もいませんし同期と比べて昇進も遅いので、あまりアピールできることもありません。実はつい最近、学生時代の友人が起業してファイナンシャルプランナーの会社を立ち上げたって聞いたんですよ。」

(ご友人の起業を知って、どのように思われたのですか。)

「私も転職がだめなら起業するのもよいかと思いました。ちょっとお伝えするのは恥ずかしいのですが、近所の割といい場所に小さな空き店舗があって、家族ともども昔からパンが好きなので、食パン専門店でもやってみようかなと思ったりしています。」

(そうなのですね。しかし起業は相応のリスクもあるでしょうし…。ちなみに、会社員を辞めて起業したいことは、どなたかに相談されましたか。)

「妻には話しました。そうしたら、退職金を開業資金や運転資金に使わないことを約束するなら構わない、と言われました。まあ、『好きにしたら』という感じですかね。妻はお金のことを心配しているみたいですが、もう夫婦2人の暮らしですし、それに今はひと昔前みたいに会社設立時に多額の資本金も要らないので、起業も簡単になりましたからね。」

(ただ、先ほども申しましたとおり起業はリスクも高いので、もう少し慎重になられた方がよろしいかと思うのですが。)

「もちろん、今の会社は長年勤めてきたので愛着もあるし、どうしても辞めたいという訳ではないのですよ。でもこのまま会社に残っても先は見えています。もう私も50歳を超えましたし、定年後のことも考えた方がいいのかなと…、起業するなら早い方がいいですよ。」

(先は見えていると言っても定年までまだ数年ありますし、感染もいつかは収まると思うので、とりあえずは会社を辞めないまま、様々な可能性についてじっくり考えてみませんか。先程、アピールポイントはないとおっしゃっていましたが、そんなことはないと思いますので、まずは今までやってこられたことを棚卸ししてみるのはいかがでしょうか。)

「そうですかねえ、勢いも大事だと思うのですが…。」

【所感】

Bさんの置かれている状況を十分に把握して悩む気持ちに寄り添うことで、かなり自己開示はしていただけたと思う。現職に留まるほうがよいとは思いつつも、念のために他業種への転職も視野に入れて「職務の棚卸し」をすることを提案した。しかしあまり納得のいく様子ではなく、その後、次の面談はキャンセルされた。自分では何がいけなかったのかわからない。最近はコロナ禍の影響をきっかけに相談に訪れるケースが増えており、今後のために指導を受けたい。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

事例 3：【選択問題（需給調整機関分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：女性 51 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「需給調整機関分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：C（23 歳）、高等学校普通科卒業。現在は派遣社員としてコールセンターに勤務。
独身、一人暮らし

【来談経緯】

C さんは、高校を卒業後、小売店でアルバイトをした後、現在のコールセンターに派遣社員として勤務しもうすぐ 3 年が経つ。非正規で働くのは嫌だとずっと思っていたが、トランスジェンダーであることから正社員を目指した転職活動に踏み出せずにいた。そのような中、最近になって派遣元の営業から「実は派遣先の会社から『C さんは仕事ぶりに問題はないし、できれば正社員として引き続きうちで働いてほしい。』とのことですがどうしますか。」と言われた。念願の正社員になれるのはすごく嬉しいが、自分のことをカミングアウトしなくてはならないと思うと不安で、このまま派遣社員でいた方がいいのかもしれないと悩み、相談にきた。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

C さんは、高校を卒業後、正社員で就職しようと考えたが、戸籍上の性別のまま正社員として就職することに抵抗があり、これまでアルバイトや派遣社員として仕事を続けてきた。今の派遣会社の担当者には何とかカミングアウトすることができ、派遣先では人事担当者だけにそのことを伝えてもらって、自分の性同一性は守られている。しかし派遣先企業の上司はそのことを知らないし、社員になれば様々なことに直面するかと思うと、喜びよりも不安の方が大きい。慣れた職場での正社員登用の話でもあるし、別の職場で派遣社員を続けることにも踏み切れずにいる、とのことだった。

（念願の正社員登用のお話なのに不安の方が大きいのですね。今の職場でのお仕事はいかがですか。）

「はい、いろんなことも何とかクリアして今は仕事に専念できているのでうまくやれていると思います。それに同僚というか一緒に頑張る仲間もやっとできて、それが一番嬉しくて…。それまで職場では仲間はどう思われるか心配で落ち着かなかったものですから。」

（そうですね。いろいろなことを乗り越えながら一所懸命に頑張ってこられたのですね。仲間もできてよかったですね。きっと今の職場では、やり甲斐も感じていらっしゃるでしょう。）

「そうですね。仕事も自分なりに工夫しながらやれているし、やり甲斐はあります。」

（仲間と呼べる存在がいて、仕事に専念できて、やり甲斐のある仕事ができる。そんな職場から念願の正社員のお話となると、断わって他の職場に移られるのもどうかとも思いますね。）

「そうですね。でも…僕にとってはこのまま派遣社員として仕事を続ける方が、心が楽かなとも思います。それに派遣先の会社で直接雇用になるにあたっては、経歴書を提出して人事との面談があるとのことだし、他にも僕にとってはたくさんのハードルがあって、やっぱり怖いし、ど

うしていいかわからないんですよね。」

(せっかく正社員になるチャンスがきたのに怖いなんて、それはお辛いでしょ。Cさんが正社員になるにあたって一番高いハードルとは何でしょうね。)

「いろいろあるのでどれかひとつを選ぶのは難しいのですが、強いて言えば名前、うーん、正社員だと今までのように自由に休みも取れなくなるだろうし、とにかくたくさんあり過ぎて…。」

(たくさんあるからこそすぐには整理ができないのですね。今は無理におっしゃらなくてもいいですよ。これから一緒にゆっくり考えていきましょう。)

「ありがとうございます。でもいつまでも返事をしないのはよくないですよ。派遣の担当は『Cさんの意向を尊重します。』と言ってくれています。それに僕のことをよく理解してくれているので、引き続き派遣会社にお世話になってもいいという気持ちもあります。」

(そうですか。でも正社員の話は確かにもったいないですし、迷われるのも当然かと…。いつ頃まで返事をするように言われていますか。)

「派遣先の都合もあるので、なるべく早く返事はほしいとされています。」

(私も早く返事はした方がいいと思います。そうすれば、派遣先の上司の方とも相談できますしね。)

「僕でいいのか…、何だか申し訳ないような気がしています。」

(そんなことはないですよ。仕事ぶりが認められてのことなので、自信をもっていいと思います。今日は言いづらいことをよく話して下さいました。まずは正社員になることについて、何がハードルだと思うのかを次回までに書き出してみませんか。問題を整理できますし、Cさんが一歩踏み出すきっかけになるのではないのでしょうか。)

「そうですね。くよくよ悩んでばかりではだめですよ。わかりました。頑張って自分と向き合いながら書いてみます。今日は本当にありがとうございました。」

Cさんは少し戸惑っているようにも見えたが、最後には前向きな言葉も聞くことができたので、次回、問題を整理する約束をして面談を終了した。

【所感】

Cさんのこれまでの努力や不安をまずはしっかりと受け止めたいと思った。労いの言葉をかけ、自己肯定感が高まるように丁寧にかわり、面談の開始から最後まで寄り添い傾聴することに努めた。話しづらいことも話してもらえて、次回、正社員になるにあたりハードルとなっている問題を整理することについては前向きな言葉もあり関係構築はできたと思ったが、次の面談日には現れなかった。トランスジェンダーの方の相談は初めてであったし、自分の対応に何か問題があったのかもしれない。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

事例 4：【選択問題（教育機関分野）】

次の文章は、事例相談者（キャリアコンサルタント：男性 40 歳、相談歴 2 年）が事例相談を受けるためにまとめた事例である。この事例を読み、以下の問いに答えなさい。解答は指定された解答用紙「選択問題」に記述すること。なお選択する分野は、「教育機関分野」の○欄を塗りつぶすこと（記入漏れがあった場合、採点されません）。

相談者：D（女性：23 歳）、私立四年制大学外国語学部 4 年生、短期留学のため半年間留年し 9 月卒業予定

家族：父（53 歳）、母（49 歳）

相談月：7 月（卒業 2 ヶ月前）

【来談経緯】

D さんは、留学先では英語学を専攻、持ち前の集中力で優秀な学生との評価を受け、大学の教授たちからも高評価を得ることが出来た。また友人・知人のネットワークが海外に広がったこともあって大満足の留学となった。一方で、留学先では勉強に集中していたために就職活動は全く進んでいないこともあり、来年の 4 月入社を希望している。ゼミの指導教員に相談したところ、キャリアセンターに行くように勧められたとのことだった。

【面談経過】（ ）内はキャリアコンサルタントの発言、「 」内は相談者の発言

D さんは、明るい印象でハキハキと話すしっかりした学生であった。留学で自信を得た雰囲気が伝わってくる。できれば留学経験と語学力を活かして海外と日本を繋ぐ仕事ができる企業への就職を目指しているということだった。

「私は留学に行った関係で 9 月卒業なので、来年の 4 月入社を希望しています。よろしく願いします。」

（同級生は 3 年生から就職活動をしていたと思いますが、D さんは何かされていませんか。）

「私は 3 年の後期から留学したので、前期は希望の大学に留学できることだけに集中していました。卒業が半年遅れることは最初、両親も反対していたけど『留学先では必死に勉強するし、帰国後は就職もちゃんとするから』と約束して頑張った結果、留学先では歴代の留学生で最高評価をもらったので、ゼミの先生もとても喜んでくれました。」

（それは素晴らしい、頑張りましたね。ただ就職活動はここまでやってこなかったのですね。）

「はい。留学中は授業について行くことに必死でしたし、課題の勉強で毎日寝る時間がないくらいだったので…。留学生だからといって甘えてられないし卒業を延ばしてでも来たんだから、と自分に発破をかけていました。それに英語力はネイティブレベルのものが求められる環境だったので、目の前のことで一杯いっぱい卒業後の事を考える暇はなかったです。」

（そうでしたか。では就活はこれから本格的に始めるということですね。これまでにオンラインの合同企業説明会とかも参加していませんか。また就活について今までどなたかに相談はしなかったのでしょうか。）

「留学中はゼミの先生と国際センターの方とは連絡を取っていましたが、生活と勉強の相談が

ほとんどでした。就活のことは『希望する企業の情報をネットでできる限り見ておくといいね』とは言われました。説明会情報とかも見ていましたが、時差もあるし結局参加できませんでした。今は参加できるし、ゼミの先生からは、キャリアセンターで応募できる企業の探し方とか、エントリーシートの書き方とかも教えてもらうように言われました。」

(はい、エントリーシートの書き方はもちろんサポートできます。何なら留学生向けの秋採用を目指して急ぎ応募することもできますね。どこか具体的に考えている企業はありますか。)

「まだ具体的には検討していませんが、アメリカに進出している日本企業で探せればと思っています。もう説明会とかは終わっているかもしれないのですが、大手企業が希望です。折角、留学したんだし、企業選びはしっかりやりたいと思っています。できれば上場企業がいいな…。」

(その他に希望はありますか。業界とかはどうでしょうか。)

「業界は特にこだわりはありません。将来的には留学経験と語学力を活かして海外と日本を繋ぐ仕事ができればと思っているので、それがかなうのであれば…」

(そうですか、わかりました。来年の4月採用に向けた上場企業の多くは残念ですが、すでに内々定、内定が出ているのが現実です。今後の上場を狙っている企業や外資系なども視野に入れたほうがいいし、留学経験がある人はベンチャー企業ではウケがいいみたいです。業界をもっと絞ってその業界のビジネスモデルの中で何が出来るかをアピールしたほうが、面接で説得力が出ます。大手は既に終わっていますので、折角なら秋採用も狙ってエントリーできるところを探しましょうか。)

「業界も絞った方がいいですかね…。大手企業がいいけど、今のタイミングだと日本の上場企業は難しいんですね。そんな話、先生からも国際センターからも聞いてませんでした。秋採用でもいいところが見つければいいけど、どうなんだろう…。」

(できる限りご希望に沿った就職をするには、まずは業界を絞ったほうがいいと思います。ここでサポートできるのは卒業するまでですが、まだ2ヶ月ありますから、まずはDさんがどんな業界に興味を持てるか絞るところから一緒に考えてみましょう。)

【所感】

卒業を考えると支援できるのは2ヶ月と限られているため、まずは興味を持てる業界をしっかり検討してくることを宿題にして、面談を終了した。来年4月に大手への就職は難しいので、企業規模に拘らずに秋採用でいいところが見つかるとういと思った。できるかぎり本人の経験を活かす就職ができるようにアドバイスをしたつもりだが、その後、連絡がないので気になっている。

問1 この事例相談者が抱えている問題は何か、あなたの考えを記述せよ。(10点)

問2 この事例相談者が抱えている問題に対して優先して取り組むべき目標は何か。また、その目標を達成するために、効果的な支援を行う方法や内容について具体的に記述せよ。(20点)

問3 この事例相談者が相談者を支援するために「必要なネットワークや環境」への働きかけは何か。また、なぜそれが必要であるか根拠を記述せよ。(20点)

